

令和7年度 乙訓圏域障がい者自立支援協議会

就労支援部会 活動報告

1 設置の目的、役割等

障がい者雇用の促進や福祉就労における工賃向上など、障がいのある方の就労に関して多くの課題があります。その課題を具体的な取組の中で整理し、解決に向けた方向性を協議するために、平成29年度に就労支援部会として発足しました。

2 昨年度までの経過

平成28年度に発足した「就労支援に関する準備会」で整理された課題や方針をもとに平成29年度に就労支援部会を立ち上げました。

平成30年度から令和元年度にかけて、庁内実習の試行、企業での障害者雇用の状況等の聞き取りを実施しました。また「障がい者の就労支援ネットワーク」の必要性について協議した、乙訓就労交流会（現乙訓障がい者就労支援ネットワーク「たけのこ」（以下、「たけのこ」と表記））が立ち上がりました。

令和2年度から令和4年度には、就労継続支援事業所における就労支援の課題や一般就労の取組に関する聞き取り調査を行い、協力された事業所・乙訓圏域障がい者支援事業所連絡協議会（以下、「乙障協」と表記）、「たけのこ」へ調査結果を報告しました。また、庁内実習については、「庁内実習実施要領」を作成し実施方法の確立と、5年間の実績をまとめました。まとめた実績を元に令和4年度は実践報告と、福祉就労から一般就労に至るまでを当事者、支援者、企業から話を聞く機会「庁内実習報告会&講演会」を開きました。その他、先進的な取組を行っている施設へ視察にも行きました。

令和5年度は、庁内実習の実習内容の拡充と実習受け入れの調整について協議をしました。支援者が就労支援について理解を深める取組として冊子「福祉就労から一般就労へ」を作成し学習会を開きました。令和6年度は、庁内実習での実習内容を具体的にイメージできる紹介動画を作成しました。また、就職活動や福祉就労で働く方の選択肢を広げるため、乙訓圏域の就労継続支援A型・B型の平均工賃や作業内容等の情報を、乙訓圏域障がい者自立支援協議会のホームページ及び各市町障がい福祉課窓口で閲覧できる仕組みを整え、半年に一度更新しています。さらに、一般就労に向け、「たけのこ」と共催で事例発表と交流を行う学習会を開催しました。

3 今年度の取組状況

第1回 令和7年6月18日（水）

- 1) 部会長、副部会長の選出
- 2) 昨年度の取組の報告、今年度の取組の確認
 - ・ 庁内実習
庁内実習スケジュール確認・庁内実習紹介動画視聴・庁内実習実施要領及び申込書等の資料説明
 - ・ 就労支援に関わる事業所の基本情報
活用状況の共有・周知範囲の検討
 - ・ 福祉就労から一般就労に向けて
取組内容の協議
- 3) 就労選択支援事業
乙訓圏域で就労選択支援をどのように展開していくかの検討
- 4) 「たけのこ」から
「たけのこ」の今年度の方針共有
- 5) その他
 - ・ 京都障がい者職業相談室の令和6年度業務取扱状況報告

第2回 令和7年8月19日（火）

- 1) 庁内実習
各委員より庁内実習案内時の感想共有・実習応募状況及び受入れのための調整会議（8月8日）の報告・各種書式の確認
- 2) 就労支援に関わる事業所の基本情報
教育機関への情報共有について検討
- 3) 福祉就労から一般就労に向けて
- 4) 就労選択支援事業
奈良県「あたつく組合」訪問報告・学習会実施に向けての協議・就労選択支援事業の情報共有
- 5) 「たけのこ」から
全体会（勉強会）の日程共有
- 6) その他
 - ・ ハローワークから障害者雇用状況報告の共有及び法定雇用率増加に伴う課題の共有

第3回 令和7年10月6日（月）

- 1) 学習会
「障害のある人の『働く』と『就労選択』を考える」

ジョブジョイント大阪 星明 聡志 氏

「日々の支援で大切にしていること」

乙訓ひまわり園 川崎 勇介 氏

2) 庁内実習

実習実施報告・庁内実習後の一般就労に向けた自己実現や就労の可能性を広げるために活用できる資源の周知ツールの検討

3) 就労選択支援事業

向日が丘支援学校で開催された行政からの就労選択支援説明会報告・就労選択支援に関するワーキングチームの必要性の検討

第4回 令和7年12月8日(月)

1) 庁内実習

受け入れ機関からの感想共有・庁内実習後の一般就労に向けた自己実現や就労の可能性を広げるために活用できる資源の周知ツールの検討

2) 就労支援に関わる事業所の基本情報

教育機関への周知について確認

3) 福祉就労から一般就労に向けて

学習会の振り返り・就労継続支援B型事業所における課題の共有

4) 就労選択支援事業

ワーキングチームメンバー確認・取り組み内容確認

5) 「たけのこ」から

1月26日開催全体会(勉強会)周知(対象:就労継続支援A型B型事業所、テーマ:利用者に選ばれる事業所になるために)

6) その他

- ・一般企業への繋がり作り
- ・中小企業家同友会での実績や他行政での工賃アップの取り組み事例共有など

第5回 令和8年2月2日(月)

1) 今年度の活動報告

2) その他

- ・指定就労継続支援事業所の新規指定や運営状況の把握に関するガイドライン及び令和8年度における臨時応急的な加算等の見直し(案)の情報共有

4 今年度の活動

(1) 庁内実習の実施について

昨年度に作成した庁内実習紹介動画の効果もあり、庁内実習の目的が以前までの文書のみ案内に比べ浸透したと考えられます。当初計画していた実習受け入れ数を上回り、受け入れ先である機関へ調整をお願いし、すべての希望者が実習出来ました。受け入れ先や推薦機関から、打ち合わせや事前の協議がもう少し必要だったことや、作業の切り出しや体制について検討が必要等の意見があがり、実習の振り返りの方法も含めて次年度検討していく必要があります。

庁内実習の周知で対象事業所をまわるなかで、「庁内実習後の一般就労に向けたプロセスがわかりにくい」という意見が多くありました。そのためステップアップを望む場合に、どのような社会資源を利用できるか、障がい福祉サービス事業所、就労支援に関わる事業所に、「たけのこ」の周知や利用の手順を明確にしていくにはどうしたらよいか検討しました。その結果、庁内実習後から一般就労までのプロセスや就労の可能性を広げるために活用できる社会資源を可視化したツールを作成しました。

引き続き、庁内実習後のステップアップをどのようにつないでいくか、また、庁内実習は事務作業が多いため、そのような作業に関心が低い方を取りこぼしている現状がある等、実習内容について検討していく必要性を確認しました。

<資料1><資料2>

(2) 就労支援に関わる事業所の基本情報について

昨年度、乙訓圏域の就労支援に関わる事業所に情報提供のご協力をしていただき、集約した情報について2回更新を行いました。活用状況や、より必要な方に活用していただくための方策について協議しました。支援学校以外の教育機関にもニーズがあるのではないかと意見があり、周知の範囲や方法について協議しました。関係機関にも確認し、まずは、乙訓圏域の府立高校に周知することとしました。

(3) 福祉就労から一般就労に向けて

支援者が一般就労に向けたプロセスの理解を深めること、また企業や就労支援を行っている機関とのつながりを作る具体的な取組について、障がい者雇用や地域活性化に向けた取組を行っている奈良県の「あたく組」を代表と事務局で訪問し、企業と福祉の連携等について伺い、部会の中で共有し

ました。

また、令和7年10月開始の就労選択支援事業について学び、支援者が一般就労に向けたプロセスの理解を深めることを目的に学習会を実施しました。就労選択支援従事者の育成に関っておられる方を講師に迎え、高槻での就労選択支援の現状や事業所での訓練・就職活動サポート、アセスメントについてご紹介いただきました。また、就労継続支援事業所の部会員より、就労支援の紹介や自立とステップアップのための支援内容の紹介を行いました。受講者にはアンケートを実施し、部会で結果を共有しました。

<資料3>

(4) 就労選択支援事業について

就労選択支援事業の乙訓圏域でのスムーズな実施に向け、ワーキングチームを障害者就業・生活支援センター、就労選択支援事業所、就労支援事業所、支援学校、2市1町、基幹相談支援センターの委員で設置し、就労選択支援事業開始に伴い、予想される課題について検討しました。また、相談支援との連携も大切なことから、相談支援事業所連絡会に参加している相談支援プロジェクト委員にもワーキングチームに参加していただきました。

ワーキングチームでは、就労選択支援事業のプロセスの整理及びアセスメント手法・シートについて協議しました。就労選択支援事業の流れについては相談支援事業所、就労支援に関わる事業所を対象に周知を行い、乙訓圏域の就労選択支援事業所が使用する標準的なアセスメントシートを作成しました。

5 次年度の課題と方針

庁内実習は周知方法や実習内容の充実を図り計画し、庁内実習の案内の際には、今年度作成したツール等を活用し、就労の可能性を広げるための周知を行います。

福祉就労から一般就労に向けての取組について、具体的にできることを協議します。また、就労継続支援B型事業所から「利用者支援と利用者確保・事業所運営の両立」「利用者の高齢化」「支援者のネットワーク・相談できる場づくり」など、事業所が抱える悩みや課題をお伺いしました。さらに、家族会でも就労継続支援B型事業所の現状や課題に向き合う必要性について話題にあがっていたことの報告がありました。このことから、一般就労に向けてだけでなく、就労継続支援B型事業所の現状を踏まえ、ネットワークづくり等の必要な

取組について検討します。

就労選択支援事業については、乙訓圏域でのスムーズな利用を目指し、運用する中で出てくる課題を協議します。

<添付資料>

資料1 令和7年度 庁内実習実施状況一覧表

資料2 「庁内実習後、一般就労に向けて自己実現を広げる資源」及び「しょうがいのある人の就労の可能性を広げるために活用できる資源」

資料3 令和7年度 就労支援部会学習会「障がいのある人の『働く』と『就労選択』を考える」 報告